

5月31日開催第8回『新しい資本主義実現会議』提出資料

東京大学 柳川範之

グランドデザイン及び実行計画を踏まえ、今後、以下の点の推進・具体化が、より一層重要になると考えます。

人への投資の推進

- ・世界の構造変化に対応できる高度人材の育成・スキルアップを
早急に実現させるための具体的プランニング
- ・人への投資が、企業収益の増大にとどまらず
一人ひとりの安心や未来への希望につながるものにする
- ・「企業の枠を超えた国全体の人的資本の推進」を具体化するための取り組み
- ・少子化対策、女性活躍につながる改革も行う

スタートアップ育成を大きなうねりにしていくための取り組み

- ・単にスタートアップの数を増やすだけでなく、
全体のエコシステムを大きく変えていく実行計画の策定・推進
融資のあり方 副業・兼業、人材移動、
大学の役割、起業家教育
オープンイノベーション促進の組織構造、知財取引等
- ・起業家教育
リスクを正しく評価し、失敗はむしろ未来の可能性を拓くもの
という価値観を社会で共有するための具体策も必要
- ・社会課題解決を事業化するための教育・取り組み強化

官民連携の精緻化

- ・ 活躍の源泉は、やはり民の自由なアイデアと活力
それをどう官の側で引き出すか、
そのための環境整備・制度設計をどう行うか
- ・ 対外経済連携や諸外国の制度を巻き込んだ標準化等では官の役割は重要
- ・ 必要となる法制度改革等
ベネフィットコーポレーション等新たな法制度の構築
競争政策の一層の高度化
資産所得倍増プラン推進のための税制等
- ・ 官の側のイノベーションを一層促すためにも
官側における、たとえば成果主義の一層の導入等の検討が必要